岐阜市 予防接種に関する事務の特定個人情報保護評価書（全項目評価書）再評価 概要版

1. 背景

予防接種事務では、対象者の予防接種歴の確認・証明、接種勧奨通知を目的としており、正確な予防接種状況の管理をする上で、特定個人情報を保有することが必要となります。また、予防接種履歴の管理を適正に行うために、予防接種の実施に係る情報収集を行う必要があります。

今般、地方公共団体情報システムの標準化に関する法律（令和三年法律第四十号）によりシステム標準化を推進することとされていることに伴い、健康管理システムをガバメントクラウドに移行するため特定個人情報保護評価書を再評価いたします。

2. 「特定個人情報保護評価書（PIA）」の再評価の内容

（1）新たに生じる特定個人情報の取り扱い

新たに生じる特定個人情報はありません。

（2）リスク対策

特定個人情報の保管に係るリスク対策

（物理的対策）

サーバ等はクラウド事業者が保有・管理する環境に設置され、設置場所のセキュリティ対策はクラウド事業者が実施する。クラウド事業者は ISMAP のリストに登録されたクラウドサービス事業者であり、適切なセキュリティ管理策や認証を受けていること、国内でデータを保管する条件を満たしていることとする。特定個人情報はクラウド事業者が管理するデータセンター内のデータベースに保存され、バックアップは本番環境とは別のデータセンターに保管される。

（技術的対策）

国とクラウド事業者は、利用者のデータにアクセスしない契約を結んでいる。地方公共団体が委託した ASP またはガバメントクラウド運用管理補助者は、モニタリングとログ管理を行うためにガバメントクラウドのマネージドサービスを利用し、セキュリティに対策を講じる。また必要に応じてセキュリティパッチを適用し、特定個人情報を保有するシステムは閉域ネットワークで構築される。業務データもアクセスを制限して管理される。